

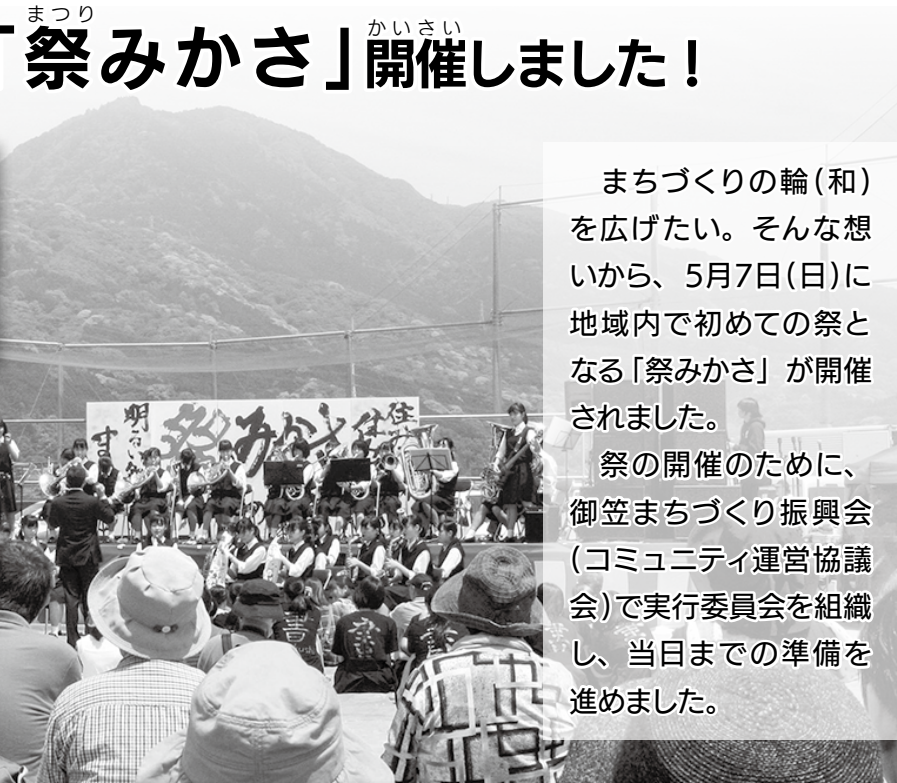


■地域コミュニティの活動を紹介します

筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

今回は、御笠まちづくり振興会祭みかさ実行委員会の主催による「祭みかさ」について、紹介します。

御笠 第1回「^{まつり}祭みかさ^{かいさい}」開催しました！



まちづくりの輪(和)を広げたい。そんな想いから、5月7日(日)に地域内で初めての祭となる「祭みかさ」が開催されました。

祭の開催のために、御笠まちづくり振興会(コミュニティ運営協議会)で実行委員会を組織し、当日までの準備を進めました。

■コミュニティ運営協議会とは
市内に7箇所あるコミュニティセンターを拠点に活動する地域のまちづくり団体です。各地域それぞれに計7つのコミュニティ運営協議会が組織されています。地域内の自治会、町内会や地域内で活動するさまざまな団体で構成されており、地域の課題を捉え、その解決に向けた活動を行っています。



**ボランティア150人
力と心をひとつに**

晴天に恵まれた御笠グラウンドからは、国指定の史跡宝満山がはつきり見えます。

音楽と食のお祭りにしようと思ったのは、昨年暮れのことでした。初開催にも関わらず、多くの人が楽しめる祭りになったのは、音楽と食でふるさとを一つに！という想いが形になったからです。

実行委員には地域住民だけでなく、小中学校、高校、消防団、筑紫農協、筑紫野市商工会も所属しました。それぞれ「ステージ」「会場」「物販」に担当を分け、その中から、「広報」「協賛金」の係を選出。地域の企業から多数の協賛金をいただいて運営できたことから、コミュニティ運営協議会の予算に頼らないイベントのお手本にしていくつもりです。

今後も「祭みかさ」を開催する予定です。イベント内容だけでなく、運営方法も楽しみながら工夫していきます。



【写真提供 みかさ写遊会】